



南越前町

議会だより

2026.8

Vol.56



Contents

- ② 議長・副議長あいさつ
- ③ 議員の紹介
- ④-⑤ 議会構成・5月臨時会報告
- ⑥-⑦ 6月定例会報告・議員発議・常任委員会報告
- ⑧-⑪ 一般質問
- ⑪-⑬ 主な活動報告・議員出欠状況
- ⑭ あなたの出番です・編集後記



新しい顔でスタート!

議長・副議長、各委員会構成が
決定しました。



任期満了に伴い、5月1日から

新たな顔ぶれでの南越前町議会が始まりました



副議長

やまもと 山本
てつ お 徹郎

議長

おおうら かずひろ
大浦 和博

議長・副議長 あいさつ

このたび、5月町議会臨時会におきまして、私たちは議員各位のご推挙により、議長並びに副議長の任を拝しました。身に余る光栄であり、その職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。

現在、本町を取り巻く環境は大きく変化しています。人口減少や少子高齢化への対応、地域経済の活性化、防災・減災対策、子育て・教育環境の充実、公共施設の適正な管理など、多くの課題が山積しています。一方で、地域資源を活かした観光振興や産業振興、デジタル技術の活用、脱炭素社会の実現に向けた取組など、未来へつながる新たな可能性も広がっています。こうした時代だからこそ、議会には町民の皆様の声を的確に受け止め、将来を見据えた責任ある議論を重ねることが求められています。

議会は、行政を監視する機関であると同時に、町民の皆様の代表として政策を議論し、より良いまちづくりを実現するための意思決定機関です。議員それぞれが地域で伺ったご意見やご要望を持ち寄り、立場の違いを超えて活発な議論を行い、町全

体の利益を第一に考えた結論を導き出すことが議会の使命であると考えています。

また、私たちは「開かれた議会」の実現にも力を注いでまいります。議会だよりやホームページ、議会映像などを通じて、議会活動をより分かりやすくお伝えするとともに、町民の皆様との対話を大切に、いただいたご意見を今後の議会運営に活かしてまいります。議会が町民の皆様にとって身近で親しまれ、信頼される存在となるよう努めてまいります。

私たち議長・副議長といたしましては、議員一人ひとりが自由闊達に議論できる環境を整え、議会がその役割を十分に発揮できるよう、公正な議会運営に努めてまいります。そして、全議員が心を一つにして、町民福祉の向上と南越前町のさらなる発展のため、誠心誠意取り組んでまいります。

今後とも、町議会に対する変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

議員の紹介

(議席番号順)



3. 牧野 吉伸
東大道 61 歳 1 期



2. 宮本 謙太郎
糠 59 歳 1 期



1. 清水 明菜
赤萩 40 歳 1 期



6. 高橋 宏介
東谷 49 歳 3 期



5. 谷口 善治
西大道 69 歳 2 期



4. 高谷 直樹
今庄 54 歳 2 期



9. 城野 庄一
湯尾 72 歳 3 期



8. 坪川 伸理
橋立 64 歳 3 期



7. 山本 徹郎
東谷 58 歳 3 期



12. 喜村 喜代治
久喜 76 歳 3 期



11. 熊谷 良彦
上野 73 歳 3 期



10. 大浦 和博
糠 72 歳 3 期

※年齢は令和8年5月1日現在です。

令和8年度 南越前町議会構成

議長

大浦 和博

副議長

山本 徹郎

常任委員会

総務文教厚生常任委員会

総務課、町民税務課、こども・子育て応援課、健康福祉課、教育委員会、会計室・議会に関する事務について話し合います。

委員長	高橋 宏介
副委員長	谷口 善治
委員	宮本謙太郎 城野 庄一 大浦 和博 喜村喜代治

産業建設常任委員会

みらい創造課、観光まちづくり課、農林水産課、建設整備課に関する事務について話し合います。

委員長	高谷 直樹
副委員長	坪川 伸理
委員	清水 明菜 牧野 吉伸 山本 徹郎 熊谷 良彦

特別委員会

議会広報特別委員会

議会だよりの充実を図るとともに、子ども議会開催への全面支援を通じて町民に開かれた議会運営と主権者教育の推進を図ります。

委員長	山本 徹郎
副委員長	清水 明菜
委員	宮本謙太郎 牧野 吉伸 高谷 直樹 高橋 宏介

議会運営委員会

議会全体をスムーズかつ効率的に進行させるため、会議の日程や運営ルールなどについて話し合います。

委員長	喜村 喜代治
副委員長	高谷 直樹
委員	谷口 善治 高橋 宏介 城野 庄一 熊谷 良彦

まちづくり特別委員会

議会基本条例の運用や公共施設の在り方、持続可能な地域公共交通について話し合います。

委員長	熊谷 良彦
副委員長	谷口 善治
委員	他全議員

エネルギー対策特別委員会

風力発電や原子力政策を含むエネルギー施策および再生可能エネルギーについて話し合います。

委員長	城野 庄一
副委員長	宮本謙太郎
委員	他全議員

地域安全対策特別委員会

空き家対策、防災・減災、防犯及び環境衛生に関する諸課題について話し合い、安全で安心して暮らせる地域づくりの推進を図ります。

委員長	坪川 伸理
副委員長	牧野 吉伸
委員	他全議員

広域連合、一部事務組合議会

南越消防組合議会

越前市・池田町・南越前町で構成される消防組合の議決機関です。

議員

清水 明菜
谷口 善治
城野 庄一
大浦 和博

南越清掃組合議会

越前市・池田町・南越前町で構成される清掃組合の議決機関です。

議員

宮本謙太郎
牧野 吉伸
大浦 和博
喜村喜代治

後期高齢者医療 広域連合議会

県内全市町で構成される後期高齢者医療事務を処理する広域連合の議決機関です。

議員

大浦 和博

福井県丹南広域組合議会

丹南5市町で構成される広域行政組織の議決機関です。

議員

高橋 宏介
大浦 和博
熊谷 良彦

公立丹南病院組合議会

丹南圏域の公的中核病院「公立丹南病院」を運営する、丹南5市町で構成される組合の議決機関です。

議員

高谷 直樹
山本 徹郎
坪川 伸理

監査委員

別に選ばれた「代表監査委員」と公金が適正に使われているかをチェックします。

議会選出
監査委員

熊谷 良彦

【5月臨時会議決結果】

議案番号	件 名	議決年月日	議決の結果
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度南越前町一般会計補正予算（第13号））	令和8年5月8日	原案承認
議案第47号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度南越前町一般会計補正予算（第14号））	令和8年5月8日	原案承認
議案第48号	専決処分の承認を求めることについて（南越前町税条例の一部改正）	令和8年5月8日	原案承認
議案第49号	令和8年度南越前町一般会計補正予算（第1号）	令和8年5月8日	原案可決
議案第50号	南越前町監査委員の選任について	令和8年5月8日	原案同意

5月臨時会報告

5月8日、改選後初となる臨時会において、議長・副議長を選出し、議会構成を決定しました。

また、令和7年度南越前町一般会計補正予算や南越前町税条例の一部改正など専決処分の承認に関する3議案のほか、令和8年度南越前町一般会計補正予算に関する議案、監査委員の選任に関する議案など計5議案が上程され、原案のとおり可決されました。

6月定例会

6月定例会は、6月12日から6月19日までの8日間の日程で開催されました。

本会議

6月12日に開会し、令和8年度一般会計及び特別会計補正予算に関する3議案や、南越前町印鑑条例の一部改正についてなど合計8議案が上程されたほか、令和7年度一般会計継続費繰越計算書についてなど合計6件の報告がありました。

初日の本会議では、議員発議として提案された、南越前町議会基本条例の一部改正についてを原案のとおり可決し、補正予算やそのほかの議案については、関係する各常任委員会に審査を付託しました。

一般質問（詳しくは8ページ）

6月15日の本会議では一般質問が行われ、議員5名が町政について町長の考えを質しました。

各常任委員会

6月16日、総務文教厚生常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

6月17日、産業建設常任委員会を開催し、委員会に付託された議案を審議しました。

現地視察

6月18日午後
議員11名で今庄地区内にある4か所の現地視察を行いました。

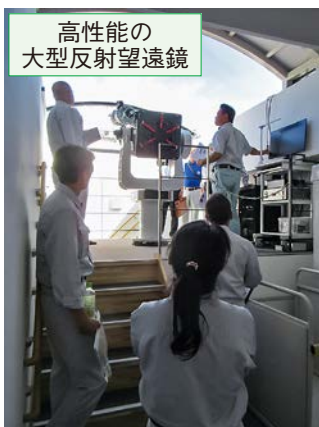
初めに、
D51ぼっぼ広場を視察し整備概要等を確認しました。

その後、
フクビ化学工業株式会社が「断熱改修実証プロジェクト」を行っている旧今庄中学校を訪れ、フクビ化学工業株式会社建材事業本部長らより事業の説明を受けました。

次に、今庄アウトドアビレッジ



昨年整備された
D51 ぼっぼ広場



高性能の
大型反射望遠鏡

に今年5月にオープンした天体観察棟を訪れ、担当課長より施設概要の説明を受けました。

最後に、

板取宿の改修予定箇所である旧増尾家住宅主屋を視察し、担当課より状況についての説明を受けました。



板取宿の魅力向上
に向けた改修

6月19日の本会議において採決を行い、初日に上程された8議案が原案のとおり可決されました。

本会議



廃校活用
(旧今庄中にて)



「廃校を活用した断熱改修実証プロジェクトとは？」
近年の猛暑などが教育環境にも深刻な影響を与える中、廃校を活用して温熱環境の変化等の実証データを取得し、次世代型学校整備モデルの構築を目指す取り組み

追加議案として、青少年育成センターときめき解体工事に関する工事請負契約の締結についてが可決されました。また、任期満了に伴い南越前町農業委員会委員に
野崎 浩嗣氏（西大道）
坂川 玲子氏（嶋）
山内 正美氏（牧谷）
笛吹 初己氏（上野）
谷口耕一郎氏（上別所）
山際 義行氏（燧）
石山 清孝氏（馬上免）
野村 和美氏（今庄）
小不動勝史氏（合波）
松浦 英之氏（甲楽城）
の10名を任命することについて同意を求める10議案が全会一致で同意されました。

議員発議 第7号



提出者 喜村喜代治

賛成者 高橋宏介
高谷直樹

【発議第7号】南越前町議会基本条例の一部改正について

本会議における質問方式を次のとおり改めるため発議し、全会一致で可決されました。

(改正前)

「一問一答方式又は

一括質問一括回答方式」



(改正後)

「一問一答方式又は

分割質問方式」

常任委員会報告

▼総務文教厚生常任委員会



委員長
高橋宏介

今期定例会において付託されました案件審査のため6月16日に委員会を開催しました。

付託を受けました、議案第51号 令和8年度南越前町一般会計補正予算(第2号)のうち総務文教厚生常任委員会に関わる分および議案第54号 南越前町印鑑条例の一部改正についてならびに議案56号 公の施設の指定管理者の指定についてから議案第58号 工事請負契約の締結についてまでの3議案について、関係理事者の出席を求めて所管ごとに慎重に審査を行いました。

採決の結果、各議案につきましては、いずれも原案のとおり認めることに決定しました。

▼産業建設常任委員会



委員長
高谷直樹

今期定例会において付託されました案件審査のため6月17日に委員会を開催しました。

付託を受けました、議案第51号 令和8年度南越前町一般会計補正予算(第2号)のうち産業建設常任委員会に関わる分から議案第53号 令和8年度南越前町下水道事業会計補正予算(第1号)までの3議案および議案第55号 南越前町火入れに関する条例の一部改正について、関係理事者の出席を求めて所管ごとに慎重に審査を行いました。

採決の結果、各議案につきましては、いずれも原案のとおり認めることに決定しました。

【議決結果】

議案番号	件 名	議決年月日	議決の結果
発議第7号	南越前町議会基本条例の一部改正について	令和8年6月12日	原案可決
議案第51号	令和8年度南越前町一般会計補正予算(第2号)	令和8年6月19日	原案可決
議案第52号	令和8年度南越前町水道事業会計補正予算(第1号)	令和8年6月19日	原案可決
議案第53号	令和8年度南越前町下水道事業会計補正予算(第1号)	令和8年6月19日	原案可決
議案第54号	南越前町印鑑条例の一部改正について	令和8年6月19日	原案可決
議案第55号	南越前町火入れに関する条例の一部改正について	令和8年6月19日	原案可決
議案第56号	公の施設の指定管理者の指定について	令和8年6月19日	原案可決
議案第57号	工事請負契約の締結について	令和8年6月19日	原案可決
議案第58号	工事請負契約の締結について	令和8年6月19日	原案可決
議案第59号	工事請負契約の締結について	令和8年6月19日	原案可決
議案第60号~69号	南越前町農業委員会委員の任命について	令和8年6月19日	原案同意

一般質問



坪川 伸理

町内道路整備について

問 毎年度、集落要望において道路の傷みを訴える項目が出されている。町内を走る国道・県道・町道の傷みは激しく、振動、突き上げを激しく感じる。また、轍が深くなり消雪水が道路全般にいさわたらず雪が路面に残る箇所もあり、水溜りになる箇所もある。堺地区主要県道の大門広野線などは一部修繕はされているが全線にわたり傷みが激しい。

予算次第であること、雪国の舗装は傷みやすいことは承知しているが、国・県へ要望する際に道路修繕改良について強く要望していただきたい。また、除雪により剥がれたセンターライン等の補修は春先に実施するよう要望していただきたい。最近の車両はカメラによってラインを把握しドライバーに警告する。将来自動運転が標準になった際、ラインが認識出来ない事故につながる。町内の道路状況をどのように把握し、町道管理計画を持っているのか？国・県と連携しているのか伺う。

答 町長 国・県道における危険箇所や補修が必要な箇所、除雪作業等で摩耗した区画線については、各道路管理者に対し速やかな補修を要望しています。町内の道路状況の把握については、職員が現地へ赴く際に道路状況の確認を兼ねて走行しているほか、地域住民からの通報や要望も重要な情報源として活用しています。こうした情報や、舗装個別施設計画も踏まえて、

緊急性の高い箇所から補修を行います。

国・県とは日頃から情報を共有しており、今後も緊密に連携しながら、道路の安全確保と適切な維持管理を行います。

傷みがある道路



地域おこし協力隊採用における外部委託について



谷口 善治

問 当町においては、現在2名の隊員に活動いただき、1名新規で募集中とのことであるが、増員に向けて、職員の手間や財政負担を減少させるため、特別交付税措置がある。これらを利用して採用活動を外部委託しやすくなる。今後の採用活動の考えについて伺う。

答 町長 地域おこし協力隊は、当町の関係人口の創出や地域課題の解決を担う大切な人材であり、その採用と定着は重要な施策の一つであると認識しております。一方、自治体間の獲得競争の激化などにより応募の確保が容易ではないという課題もあります。

国が地域おこし協力隊の増加に向けて財政支援を強化していることは承知しており、「採用活動の外部委託」は、戦略的な採用スキームの構築や、ターゲット層への的確なアプローチなど、多くのメリットが期待できると考えております。

今後の募集に向けて前向きに導入を検討し、さらに多くの地域おこし協力隊の方々が本町で

活躍できるような環境を整えてまいります。

答 **みらい創造課長** 採用活動に関しては、外部委託による応募の確保とともに、その活動内容に適した雇用形態での採用も重要と考えています。現在募集している観光連盟での観光誘客業務に携わる地域おこし協力隊1名については、観光情報の発信力強化など活動の充実を図るため、町職員として採用する「雇用型」から、観光連盟において直接受け入れを行う「委託型」に変更する予定としています。

採用にあたっては、単に応募者を増やすだけでなく、採用後のミスマッチ防止と定着率向上の双方が極めて重要です。

採用活動に加え、隊員が安心して活動に専念し着実に定着していくよう、日々の活動サポートやフォローアップ、地域とのコーディネートについても、外部の専門組織との連携を進めてまいります。



地域おこし協力隊活動の様子
(移住者懇談会)



牧野 吉伸

合併時から南越前町をPRするキャッチフレーズとして使われている『山海里』について

問 町のキャッチフレーズは短い言葉ではあるが大変重要で、町民には町への誇りを、町外や県外の方には町へ訪れてみたいと思う気持ちを誘うもの。町のキャッチフレーズである「山海里」の浸透具合をどのように捉えているか伺う。

答 **町長** 「山海里」という言葉は本町の多様な魅力を包括的に表現したものであり、長年にわたり観光パンフレットなどのあらゆる場面で活用してきました。その成果として町民の間には確かな愛着が深く浸透していると考えます。道の駅の名称公募でも「山海里」の文言を含む応募が多数ありました。さらには、「山海里」のインターネット検索で、道の駅や町の情報が上位に表示されており、山海里の言葉を通じて、町の魅力が浸透していると受け止めており、今後も認知度向上とブランド力の強化に努めてまいります。

問 20年前の合併当時は町民の意識を一つにまとめるために「山海里」というキャッチフレーズは大変有効であったと考える。しかし、町も誕生して20年が経過し、町民の意識も合併当時

とは違ってきている。また「山海里」だけでは、南越前町の観光資源と結びつかない。このような課題についての認識を伺う。

答 **みらい創造課長** 「山海里」は本町の魅力を発信するPR効果があり広く浸透していますが、どの観光資源や歴史・文化を指すのかには結び付きにくい側面もあります。こうした課題を踏まえ、令和4年度に観光資源をモチーフにした「Gマーク」と「山海里のくに」というキャッチコピーを制作しました。これらを観光パンフレットなどに活用するほか、民間事業者や町民にも広く使っていただき情報発信に努めています。

問 人口減少が続く中、より魅力あるキャッチフレーズで町民には自分たちの町に誇りと愛着を、町外や県外の方には「訪問してみたい」「住んでみたい」と思わせる必要がある。そのためには歴史と文化を感じる言葉が必要と考える。本町は、古代から越の国・北陸の入り口に位置し、陸路や海路の要衝として栄えた歴史がある。例えば、「北陸の玄関口」「陸路と海路の要衝」「山海里のまち」のように、町の観光資源とも結びつく歴史と文化が感じられる、より魅力的なキャッチフレーズを作り出してはどうか伺う。

答 **町長** 「山海里」の認知度を活かしつつ、「玄関口」や「要衝」といった具体的なストーリーを、各地域資源のサブコピーへ肉付けしていく手法や今後のまちづくりの場面ごとにつくっていく方法などで新たなフレーズを作成することもある効果的と考えます。より効果的な情報発信の方向性を具体的に研究・検討してまいります。



高谷 直樹

今庄そばまつりの今後の課題と そばを活かした観光施策について

問 今庄そばを観光資源として、今後どのように育成・確立していく考えなのか、また、今庄そば道場の今後の利活用について伺う。

答 町長 今庄そばは、宿場町から鉄道の町への発展の中で生まれた郷土の味であり、町の重要な観光資源であると考えています。町では「鉄道遺産とそば」をセットで捉え、更なる価値向上とブランド化に努めてまいります。また、町では、新たに起業または二次創業を目指す方を対象に支援を行っており、そば店等の開業についても大いに期待しているところです。

今庄そば道場の今後の運営方法については、民間のノウハウを活用するなど、抜本的な見直しについても検討してまいります。

問 来年、第40回を迎える「今庄そばまつり」が、そば処福井県を代表するイベントとして今後も継続していくための、そば店の確保策とステージイベントの方向性を伺う。

答 観光まちづくり課長 町では、より多くのそば店の確保が重要と考えており、今一度、各

集落の区長に出店をお願いするとともに、集落合同での出店が出来ないかも含め、そば店の確保に努めてまいります。また、ステージイベントについても、そばを活かしたイベントを検討し、今庄そばのPR促進を図ってまいります。

関係人口の増加に向けた取り組みと 今後の展望について

問 現在、町では関係人口の増加に向け、具体的にどのような取り組みを実施・計画しているのか、また、今後の展望を伺う。

答 町長 関係人口や交流人口の皆様も「町の住民」であると考えており、地域外の力と地域住民との深い絆こそが、今後の町を活性化させる源であると確信しています。今後は、一歩踏み込んだ関係性を構築し、人と人の結びつきが強いものとなるよう注力してまいります。

答 みらい創造課長 「関係人口ボランティア事業」については、まちづくりの仲間を募る制度で、現在43名が登録されています。「南越前町わがまち応援団」については、本町ゆかりの著名人8名をアンバサダーに任命し、本町の魅力発信や政策提言をいただく取り組みです。さらに、「まちみらいチャレンジ」では、大学生の視点で地域活性化の企画を提案しています。

現在、総務省では、地域との関わりを可視化し、活性化に繋げる「ふるさと住民登録制度」の実施に向け、準備が進められています。



清水 明菜

高校生の通学手段について

問 南越前町には高校がなく、進学時の通学難から家族ごとの町外流出や保護者の送迎負担が見受けられる。人口減少に歯止めをかけ、住み続けられる環境を作るためにも、福鉄バスやらくらくおでかけバスの運行時間の見直しを行い、朝の通学だけでも地域間の家庭負担に差が出ないよう、早急な交通手段の整備が必要と考えるが、町の考えを伺う。

答 町長 高校通学の負担による人口流出に危機感を持ち、これまで実施してきた高校進学にあたっての財政的支援に加え、今後は「自家用有償旅客運送」など地域で交通を支えあう手法などを研究し、限られた財源と人材の中で、効率的かつ現実的な解決策を検討してまいります。

小中学校のGIGAスクールについて

問 GIGAスクール導入前後での子どもたちの学力動向。また、画面凝視による視力低下やデジタル依存など、児童生徒の健康被害についての現状把握。合わせて、五感を刺激する紙

《一般質問》

と鉛筆のアナログな学びとデジタル活用を、どのように調和させていくのか、町の考えを伺う。

答 教育長 学力動向は極めて良好で、データ上、タブレット導入による視力や睡眠への顕著な影響は見られず、学校でもルール作りなどの配慮を行っています。授業では表現や思考には「紙」、調べ学習や意見交換には「デジタル」と使い分けており、今後も両者の利点を活かした指導と健康への配慮を継続していきます。

学校給食における牛乳の取り扱いについて

問 米飯中心の給食に毎日牛乳が提供される現状に対し、アレルギーや乳糖不耐症、食べ合わせ、伝統文化の観点から多様な選択肢を検討する必要がある。他自治体の事例も踏まえ、地元の緑茶や花ハス茶等によるお茶給食の試験導入について伺う。

答 教育委員会事務局長 牛乳は国の栄養基準を満たすための不可欠な食品として提供しつつ、地産地消や食育の観点から、今後は福井県産のお茶の提供に向けて給食関係者と前向きに検討を進めてまいります。



主な活動報告

- **5月12日** 南越前町民生委員児童委員協議会総会が南条保健福祉センターで開催され、議長が出席
- **5月14日** 南越前町河野観光協会通常総会が河野住民センターで開催され、議長ほか地元議員2名が出席
- **5月15日** 丹南地区市町議会議長会総会が池田町役場で開催され、正副議長が出席
- **5月19日** 国道8号敦賀・南越前バイパス建設促進期成同盟会事業監査が南越前町役場で行われ、産業建設常任委員長が出席
- **5月19日** 嶺北町村議会議長会総会が池田町役場で開催され、議長が出席
- **5月20日** 北陸新幹線建設促進丹南協議会定例総会が越前市役所で開催され、議長が出席
- **5月20日** 南越前町商工会総代会が南越前町商工会で開催され、議長が出席
- **5月22日** 福井県町村議会議長会から総務課長を招き新人議員研修会を開催し、新人議員3名のほか、議会運営委員会正副委員長が出席
- **5月22日** 福井県町村監査委員連絡協議会第40回定期総会が福井県自治会館で開催され、熊谷議員が出席
- **5月24日** 第39回今庄そばまつりが今庄宿を中心に開催され、全議員が出席
- **5月25日** 南条小学校体育大会が開催



- され、副議長ほか地元議員3名が出席
- **5月25日** 福井県丹南広域組合例月出納検査が南越前町役場で開催され、熊谷議員が出席
- **5月26日** 全国町村議会議長会議長・副議長研修会が東京国際フォーラムで開催され、正副議長が出席
- **5月29日** 社会福祉法人ほのぼの苑理事会在がほのぼの苑で開催され、熊谷議員が出席
- **5月29日** 国道8号敦賀・南越前バイパス建設促進期成同盟会総会が敦賀市役所で開催され、正副議長ほか、産建厚生常任委員会正副委員長が出席
- **5月30日** 南越前中学校体育祭が開催され、正副議長ほか議員9名が出席
- **5月31日** 福井県北陸新幹線建設促進同盟会総会・講演会がJA福井県小浜支店で開催され、議長が出席
- **6月5日** 公益社団法人南越前町シルバー人材センター通常総会が南越前文化会館で開催され、議長が出席
- **6月20日** 越前たけふ農業協同組合通常総代会が越前たけふ農協会館で開催され、議長と産業建設常任委員長が出席



●6月24日

南越前中学校
3年生による
議場見学が行
われ、正副議
長が出席



議場見学

●6月25日

福井県丹南広
域組合例月出
納検査が南越
前町役場で開催され、熊谷議員が出席

●6月26日 県指定管理鳥獣捕獲
等事業に係る地元関係者への説明
会が河野事務所で開催され、地元
議員2名が出席

●6月27日

はすまつ
りオープン
記念式典が
花はす公園
で開催され、
全議員が出
席



はすまつりオープン式

●6月27日

南条郡森
林組合通常総代会が今庄住民セン
ターで開催され、議長と産業建設
常任委員長が出席

●6月27日 2026年国民平和

大行進が南越前町役場で開催され、議長が出席

●6月28日

花はす早朝
マラソンが
ウォーター
ランド南条周
辺で開催され、
全議員が出席

●6月29日

町議会広報研
修会が福井県自治会館で開催され、
議会広報特別委員会委員6名が出
席



花はす早朝マラソン開会式

●7月1日 社会を明るくする運
動に係る総理大臣メッセージの伝
達式が南越前町役場で開催され、
議長が出席

●7月1日 南越前中学校3年生
による子ども議会のための質問書
作成授業が南
条地区公民館
で行われ、議
長ほか議会広
報特別委員会
委員6名が出
席

●7月3日
福井県町村議
会議長会臨時



社会を明るくする運動



子ども議会 質問書作成

総会が高浜町役場で開催され、議
長が出席

●7月5日 自警消防隊連絡協議
会消防操法大会が今庄中部地区農
業集落排水処理施設前広場で開催
され、議長と総務文教厚生常任正
副委員長が出席

●7月6日 福井県丹南広域組合
定期監査・決算審査がサンドーム
福井内会議室で開催され、熊谷議
員が出席

●7月8日 南越前中学校3年生
による子ども議会のための質問書
作成授業が南条地区公民館で行わ
れ、議長ほか議会広報特別委員会
委員6名が出席

●7月9日 海開き神事が甲楽城
海水浴場で開
催され、議長
が出席



海開き神事

●7月10日 福井
県消防操法大会出
場に伴う激励会が
エコクリーンセン
ター南越で行われ、
議長が出席

●7月12日 敦賀市議会市民報告
会が敦賀駅交流施設オルパークで
開催され、まちづくり特別正副委
員長と議会運営正副委員長が見学

●7月12日 福井県原子力発電所
準立地市町連絡協議会総会および
視察研修が佐賀県で行われ、議長
が出席

●7月14日 国道8号敦賀・南越
前バイパス建設促進期成同盟会近
畿要望活動が近畿地方整備局で開
催され、議長が出席

●7月16日 国道365号改良促
進期成同盟会通常総会が今庄住民
センターで開催され、議長ほか産
業建設常任委員長が出席

●7月18日 第75回福井県消防操
法大会が県消防学校で開催され、
議長が出席

●7月19日 故山本優氏への叙勲
伝達式が町長室で行われ、正副議
長が出席

●7月22日 国道305号改良整
備促進期成同盟会総会が越前町生
涯学習センターで開催され、議長、
産業建設常任委員長ほか地元議員
2名が出席

●7月27日 福井県丹南広域組合
例月出納検査が南越前町役場で開
催され、熊谷議員が出席

●**8月5日** 北陸新幹線建設促進大会がホテルグランドアーク半蔵門で開催され、議長が出席

●**8月7日**

南越前中学校3年生による子ども議会が開催され、議員11名が出席

●**8月7日**

福井県町村議会議長会による県知事要望が福井県庁で実施され、議長が出席



子ども議会

●**8月10日** 南越消防組合議会臨時会が越前市役所で開催され、議長ほか組合議員3名が出席

●**8月10日** 南越清掃組合議会臨時会が越前市役所で開催され、議長ほか組合議員3名が出席

〔5月から8月の主な会議〕

全員協議会

5月8日、6月12日、19日、

7月17日

議会運営委員会

5月18日、6月4日、8月10日

広報特別委員会

5月21日、6月30日、

7月15日、29日

故山本優氏の功績を顕彰

旭日双光章伝達式

7月19日、町長室において、今年2月に町議会議員として在任中に逝去された故山本優様に対する旭日双光章伝達式が執り行われました。

山本優様は長年にわたり町議会議員として地方自治の発展と町政の振興に尽力され、その多年にわたる功績により旭日双光章が授与されるとともに、位階が追叙されました。

当日は、ご家族へ町長から勲章、位記などが伝達され、議会を代表して正副議長が立ち会い、故人のご功績に深く敬意を表しました。



議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

○…出席 ×…欠席 △…遅参・早退

開催日	会議名	大浦 議長	山本 副議長	清水 議員	宮本 議員	牧野 議員	高谷 議員	谷口 議員	高橋 議員	坪川 議員	城野 議員	熊谷 議員	喜村 議員
5月8日(金)	臨時会・全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月18日(月)	議会運営委員会	○	○	△	△	△	○	○	○	△	○	○	○
5月21日(木)	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	△	○	△	△	△	△
6月4日(木)	議会運営委員会	○	○	△	△	△	○	○	○	△	○	○	○
6月12日(金)	6月定例会 本会議（1日目）・全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月15日(月)	6月定例会 本会議（4日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月16日(火)	6月定例会 総務文教厚生常任委員会	○	△	△	○	△	△	○	○	△	△	△	○
6月17日(水)	6月定例会 産業建設常任委員会	△	○	○	△	○	△	△	△	○	△	○	△
6月18日(木)	6月定例会 現地視察	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
6月19日(金)	6月定例会 本会議（8日目）・全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月30日(火)	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	△	○	△	△	△	△
7月15日(水)	議会広報特別委員会	△	○	○	○	○	○	△	○	△	△	△	△
7月17日(金)	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月29日(水)	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	△	○	△	△	△	△
8月10日(月)	議会運営委員会	○	○	△	△	△	○	○	○	△	○	○	○
	南越消防組合議会臨時会	○	△	○	△	△	△	○	△	△	○	△	△
	南越清掃組合議会臨時会	○	△	△	○	○	△	△	△	△	△	△	○



河野川を守り、

未来へつなぐ

河野川清流保存会

会長 酒井 享さかい ちあき

皆さん
こんにちは、
私は、私
たちは、「河
野川清流
保存会」
です！

私たち

は、令和
4年8月
の豪雨災
害で被災



した赤萩地区を流れる河野川で河
川の清掃活動を行い、川の環境保
全や水産資源の維持・回復を図る
ための活動を行っています。河野
川漁業協同組合を中心に、赤萩地
区や活動に賛同する町外の方たち

で構成された本会は、令和6年2
月22日に発足し、今では約80名ま
で構成員が増えました。
全体の保全活動としては、年に
2回ほど、河川清掃を行っていま
す。



また、6月頃には河野小学校の
児童を対象に、赤萩地区内でアユ

やヤマメ
などの稚
魚放流体
験教室を
行い、生
息する水
生生物や
川をきれ
いにする



ことの大切さを学習してもらう教
育活動も行っています。

さらに、春と秋の年に2回、桜
橋から河野川河口までの区間の5
箇所

調査捕
獲を行
い、モ
ニタリ
ングに
よる現



状把握を行っています。

豪雨災害から4年が経過し、復
旧工事により何とか元の姿に戻り
つつありますが、河川が増水する
と上流域からの多量の土砂流入が
今なお続き、河野川の水生生物な
どに甚大な影響を及ぼしています。

この現状を鑑み、私たちはこれ
からも保全活動や教育活動などを
通じ、できることをできる範囲で、

ワイワイガヤガ
ヤ楽しみながら、
さらなる組織の
充実を目指して
いきたいと考え
ています。



編集後記

残暑が続く季節であります。町
民の皆様におかれましては、いかが
お過ごしでしょうか。この度の議会
改選により、新たな議会がスタート
し、広報委員会も新メンバーで活動
が始まりました。

私達は、町民の皆様には議会の活動
をより身近に感じていただけるよう
に「分かり易く、読み易く、伝わる
広報紙」を目指して、日々の研鑽に
努め編集会議を通して取り組んでま
いりたいと思います。

広報紙について皆様からいただく
ご意見やご感想を大切にしながらよ
り良い紙面づくりに努めてまいりた
いと思いますので、今後とも「議会
だより」をご愛読いただきますよう
に、お願い申し上げます。

まだまだ暑さが続きますので、熱
中症対策をはじめ、健康管理に充分
にご留意いただきまして、元気に
過ごしていただきますようお願い申し
上げます。

(山本)



議会広報特別委員会

委員長 山本徹郎
副委員長 清水明菜
委員 高橋宏介
高谷直樹
牧野吉伸
宮本謙太郎